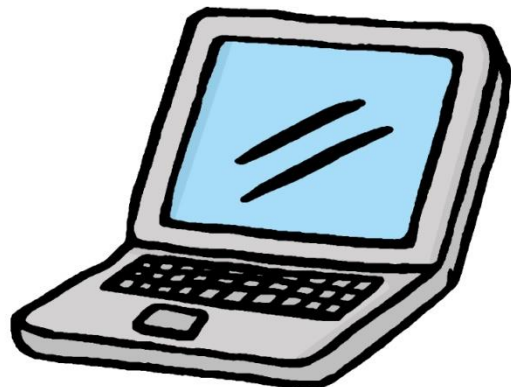


SNS を利用する方へ

ちよつと待った!



その投稿、大丈夫?



フェイスブックやインスタグラムなどのSNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）を利用している人は多いと思います。

「離れて住むおじいちゃんやおばあちゃんに孫の写真を見せたい」



「子育ての悩みを共有できるママ友の輪を広げたい」

SNSを活用する理由は様々あるでしょう。SNS上で子どもの写真や動画を目にするのは珍しくありません。

入園式、親子遠足、運動会・・・



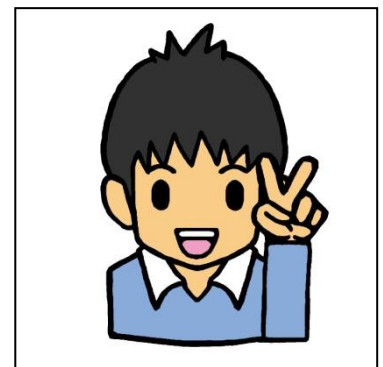
でも、ちょっと待って。その写真、ネットにアップしても大丈夫ですか？

SNS を利用する際のリスクについて少し考えてみましょう。

【SNS にアップしない方がいい写真】

顔がはっきり写っている写真

住んでいる場所などが特定できる写真 など



【危険な日常のつぶやき】

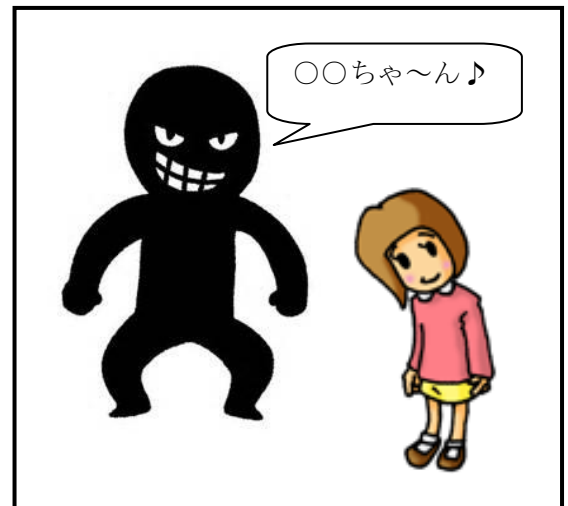
「いつも遊んでいる〇〇公園」「今日は週に一度のピアノ教室の日」

などの投稿から、よく行く場所や行動パターンを特定されることが考えられます。

これらの写真や投稿から、どんなことが起こるでしょう。

例えば・・・

- ①
子どもに興味を持つ悪意のある者が、
通り道で知り合いをよそおって
「〇〇ちゃん」と声をかけることも
でき、子どもが警戒心をゆるめて
しまう可能性があります。



- ②
また、こんな投稿でトラブルになることも。



- ③
こんな投稿も危険です。
「明日から家族で旅行に行ってきます！」
「日曜日はみんなで〇〇までおでかけ」



これは、家を留守にすることを知らせているようなものです。

さいごに

SNS はインターネットという世界につながっています。ひとたび写真がインターネット上に拡散すれば、削除することは不可能です。

将来、その写真が原因で子どもが嫌な思いをするかもしれません。

日記のような感覚で SNS に投稿している方もいるかもしれませんが、

「SNS はどこの誰が見ているかわからない」ということを忘れずに、

慎重に言葉や写真を選んで投稿するように心がけましょう。

子どもを守るために。

長岡市教育委員会